

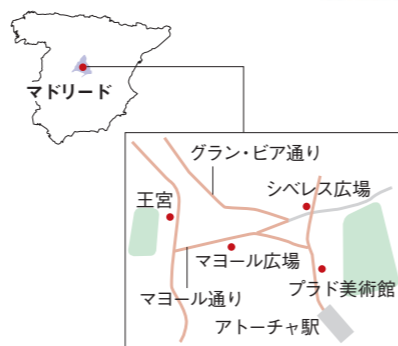


1 シベレス宮殿前にはシベレス広場、レアル・マドリードの優勝をファンが祝う場として知られている 2 王宮の門では通常、王室護衛官の衛兵交代式が月に1度行われる
3 オリーブオイルで揚げたイカを挟んだカラマリ・サンドはマドリードの名物 4 100年の歴史ある老舗店に与えられるプレート 5 タブラオや劇場で楽しめるフラメンコ
6 街の中心部に位置するアルカラ通りとグラン・ビア通りに挟まれて建つマドリードの象徴的建物メトロポリスビル 7 サン・ミゲル市場などのイートインコーナーで味わえるタパス

何度も発見 マドリードの魅力

日々目まぐるしく変化するスペインの首都マドリード。
歴史や文化に彩られたこの街には新しい時代を感じさせる現代文化が流れ込み、
何度訪れても新鮮な驚きに満ちている。

スペイン政府観光局
TURESPAÑA



マドリード観光といえば、真っ先に挙がるのは偉大な芸術作品に触れる美術館巡りだろう。初めての訪問ならプラド美術館や国立ソフィア王妃芸術センターを訪れ、ピカソのゲルニカを鑑賞するのが王道だ。2度目、3度目の訪問なら、広大なプラド美術館を再訪して初回に回り切れなかった作品をじっくり鑑賞したり、ティッセン・ボルネミッサ美術館でゴッホの作品を堪能するのもいい。

昼間の観光なら、18世紀に建造された王宮や有名なマヨール広場といった定番スポットに加え、ラス・レトラス地区の散策は欠かせない。ここはミゲル・デ・セルバンテスの小説「ドン・キホーテ」の初版が生まれた文豪たちの活動の拠点だった地区。現在は劇場やホテル、レストラン、ショップなどが軒を連ねる商業エリアに変わりつつ、歴史と文化が香る古き良きマドリードを感じられる場所となっている。

夜のマドリードではやはりフラメンコショーが必見だ。劇場やディナーも一緒に楽しめるタブラオで、本場の熱気を身近に感じたい。一方で街にはライブアート国際センターなど、ミュージカルやサーカスが楽しめる施設も充実。滞在中に組み込みたい夜のプログラムは豊富にある。

また、マドリードといえば、サッカーのスペイン1部リーグであるレアル・マドリードの本拠地で、日本人にもなじみがある。観戦のほか、スタジアム見学ツアーという楽しみ方があり、熱戦が繰り広げられるグラウンドや選手たちが使うベンチやロッカールーム、チームの歴史が詰まったトロフィーの展示室を巡ることができる。

マドリードほど食べる場所に困らない街もないだろう。レストランの数は3000軒以上といわれており、100年続く老舗レストランから有名シェフの味を堪能できる最新レストランまで多彩だ。

気軽に食文化を味わうならグルメマーケットがいい。サン・ミゲル市場、サン・アントン市場、サン・イルデフォンソ市場などがその代表で、好みのタパスやピンチョスを選び、イートインでワインやビールを片手に味わいたい。スペイン人に交じって気軽に地元の味を楽しむことができる。

デリカテッセンが集まるおしゃれなプラテアマドリードは、食とエンターテインメントが融合した進化系市場。鉄道博物館が運営するモトーレス市場では、ハイセンスな品物が並ぶクラフト市が開かれたり、ヴィンテージ列車の内部を見学できたりと市場らしからぬユニークな過ごし方ができる。また、1725年にオープンした世界最古といわれるレストラン「ボティン」にも足を運びたい。ギネスにも認定された店は現在3代目が経営するが、創業当時から使っているオープンはいまも健在。名物の仔豚の丸焼き「コチニージョ」をぜひ味わおう。

老舗から最先端ショップまで

マドリードの中でも常に変化を続けているのがホテルだろう。インターナショナルブランドの5ツ星ホテルや宮殿を改装したホテル、ファッションブルなデザイナーズホテルなど多種多様な宿泊施設がひしめく。

近年、特に夏季に人気を集めているのはオープンテラスのあるホテル。屋上テラスになっていることが多く、街並みを見渡せる開放感たっぷりの空間が人々を惹きつけている。おすすめは「ホテルアーバン」や「ラス・レトラス」など。ランチや夕方のカクテル、ディナーなど、観光の足を止めてくつろぐのに最適なスポットだ。

ショッピングの時間もたっぷり確保したい。高級ブランドショップならセラノ通り、百貨店なら創業約130年の老舗エル・コルテ・イングレスがいい

だろう。ほかにも歩行者天国のプレシアドス通り、日曜と祝日のみ開催のみの市、郊外の大型ショッピングモールやスーパーマーケットなど、あらゆるタイプの買い物が楽しめるマドリードはまさにショッピング天国だ。

若いデザイナーが手掛ける最先端のファッションやアクセサリ、クラフトなどに触れるなら、グラン・ビア通りの北に延びるオルタレサやフエンカラル通りへ。モダンスペインの新たな文化発信基地として新鮮な熱気を感じることができる。

また、マドリードは古き良き建物を大切に残し、新しい文化として発信するのも得意だ。たとえばプリンシペ・ピオ駅に直結するモールはかつて駅舎だった建物。レトロな外観はそのままに、中にはエイチ・アンド・エムやマンゴ、ザラといったファストファッションやスポーツ用品店などが軒を連ね、若者を中心に賑わいをみせている。

マヨール広場やオリエンテ広場、プエルタ・デル・ソルでも100年もの歴史ある建物を上手く改装し、個性的なショップとして再生した店が多い。帽子屋、小間物屋、古本屋、菓子屋、薬局、楽器屋などで、カラフルな陶器や織物、ギター、ショール、教会関連グッズなどの掘り出し物が見つかるかもしれない。老舗の称号である「Comercios Centenarios」と刻まれたプレートを探しながら散策するのもマドリードならではの楽しみだ。

マドリードワークショップ開催

東京にマドリードのサプライヤーが集い、ワークショップを開催する。

日時：2019年9月27日(金)
時間：11時～15時
場所：GINZA SIX 13階
[THE GRAND GINZA JAPAN]
問い合わせ：スペイン政府観光局
(E-mail: info.tokio@tourspain.es)